



しののめ

平成26年10月23日発行

「一人一人が主役であり、支える役となるフェスティバル」



校長
山内 賢一

日ごとに、秋の深まりを感じようになりました。スポーツの秋・勉学の秋と言われるときです。実りの多いものにしてください。しかし、朝晩は、かなり冷え込んできましたので、体調をくずしたり、カゼをひいたりしないよう十分に気をつけましょう。

本年度のフェスティバル第一幕は、九月二十五日の文化祭。今年度は、各クラスのテーマに沿って調査した内容を壁新聞にまとめる活動でした。どのクラスも、読み

手をしっかり意識したまとめ方ができ、読み応えのある壁新聞を作成することができました。また、部活動や有志の発表についても、よく練習された素晴らしいものでした。

第二幕は、十月二日の体育祭。



新たな試みである「選手宣誓」を幕開けに、様々な競技が繰り広げられました。競技に臨む皆さんの姿からは、最後まで頑張る強い思いが随所に見られ、一致団結して、クラスの仲間と心を一つにして、大きな力を発揮できた実感できました。残念ながら、ふだんの実力を出せなかった人もいたかもしれませんが、全体的に、見ていてとても充実した体育祭となりました。

生徒会役員や実行委員の人たちをはじめ、支えてくれた人たちの頑張りに心から感謝しています。

舞台も最終幕である十月二十九日の合唱祭を残すのみとなりました。最後の一音まで、一人一人の心を込めて、素晴らしいハーモニイを奏でられるよう精一杯頑張ってください。心より期待をしています。

東雲日記

この季節になると、職員室は、学校随一の特等席となる。コンサートでいえば、アリーナS席といったところか▼毎時間のように、向かいの南館4館、音楽室からすばらしいハーモニイが響いてくる。季節柄、冷暖房要らず、もちろん窓は全開。心地よい秋の風と共に美しいメロディーが職員室内を満たしてくれる▼この言う手前味噌になるが、東中生の奏でる合唱は、年々レベルを上げていく。先輩たちの合唱を聴き、感動し、歌う：毎年この地道な繰り返しが見事な歌声となって昇華されていく姿を誰もが実感しているといっている。それが、東中の合唱祭であり、伝統だ▼本年度より、そうした子どもたちの歌声によりふさわしい会場を：という音楽科の悲願がついに実を結ぶ。尾張旭市文化会館 大ホール：大きな晴れ舞台が、東中の生徒たちのすばらしいハーモニイを心待ちにしている。(奈)

このお便りは、生徒のみなさんと保護者の方々に向けて発行しています。



RENMA



NEWS

＜ 第21回 スクールフェスティバル 文化祭ダイジェスト 平成26年9月25日(木) ＞



体育館での舞台発表…吹奏楽・箏曲部・有志のみなさんの雄姿です！



クラス発表・壁新聞を中心に力作ぞろの展示発表となりました！

【毎日更新中です！東中ホームページ】

東中の子どもたちの素敵なニュースをタイムリーにお届けする「東中ホームページ」…学校だより「しのめ」とともに、ぜひ、ご覧ください。よろしくお祈いします。

HPアドレス <http://www.owariasahi.jp/higashi-j/> (毎日更新中)

※「尾張旭市立東中学校」で検索クリックすると…HPへジャンプします。



尾張旭市立東中学校 学校だより「しのめ」編集部
〒488-0051 愛知県尾張旭市下井町前の上1602番地
教頭：加藤奈保樹 ☎ 0561(54)6511 FAX 0561(52)2905